

令和6年度みやざきビジネスアカデミー（労働者向け個別スキルプログラム）運営業務審査基準書

	審査項目	審査内容	配点
プログラムの実施	個別スキルプログラム	県内の産業をけん引する管理者～中堅社員層の中核人材を育成するために必要なテーマ・内容となっているか。	65
		テーマに応じた適切な講師が選定されているか。	
		適切なプログラム数及びプログラム当たりの時間数となっているか。	
		実施日程、実施会場等は適切か。	
	ビジネス現場におけるデジタル技術の活用等、デジタル時代を踏まえた適当な要素が盛り込まれているか。		
プログラムの効果の検証	プログラムの効果を検証するために、効果的な手法・内容となっているか。		
受広講報者の周知確保	広報スケジュール	開催予定時期に対して、十分な周知期間が確保できる計画となっているか。	55
	広報・周知	事業の目的と効果を県内企業に適切に伝えるために、効果的な媒体を用いているか。	
		ターゲットとなる層に情報を届けるために、効果的・効率的な相手へのアプローチとなっているか。	
	受講者の確保	受講生を確保し、定員を充足するために効果的な方法となっているか。	
認知度向上への取組	実施の様子等に係る広報など、認知度向上が期待される提案がなされているか。		
運営	体制	業務実施体制は十分か。	20
	スケジュール	目的達成に向けた効果的・計画的なスケジュールとなっているか。	
	経費積算	事業内容と経費の積算のバランスは適正か。	
	独自提案	独自提案内容の付加的評価	20
合計			160

【審査方法】

- (1) 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計し、参加者ごとに合計点数を確定する。
- (3) 合計点数が6割以上になった参加者のうち、合計点数が最も高い参加者を委託候補者として決定する。
なお、点数が同点の場合は、以下の優先順位に従い決定する。
 - ① 最高点を付けた委員が多いもの。
 - ② 審査員による協議
- (4) 参加者が1者の場合でも、合計点数が6割以上でなければ、委託候補者に決定されない。

【評価基準（5段階）】※下記を基準に係数を乗じた点数とする。

段階	5	4	3	2	1
評価	標準より非常に優れた提案	標準より優れた提案	標準的な提案	標準よりもやや劣る提案	標準より劣る提案